

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年4月1日

事業所名 げんきの家わんぱくステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0		人数制限を行って必要以上に密にならないようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	0		子どもたちに対してできるだけ1:2になるよう心掛けて一人一人の子供に深くかかわるよう心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0	0		施設の出入り口のスロープやトイレなど車いす対応にしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	0		毎日の日誌を書くときに職員全体での振り返りを毎日行い、活動に生かしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	0		これから時々アンケートなど行って保護者の意向を聞いていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	0		ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	3		今後行っていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	0		事業所同士で行っている療育相談会やペアプロ研修等できるだけ参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		障害児相談支援事業の活動支援プログラムなども活用しながら、個別支援プログラムを策定して、活動を実施し、子供に支援に役立てている。
	#	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	0	3		標準化されたツールは使っていないが、施設独自で体験を重視した活動計画を作っている。
	#	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	0		できるだけすべての職員が参加して活動計画をつくよう心掛けている。
	#	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	0		いかに多くの体験をするかに子供の成長があることを職員が共通理解をしながら毎日進めている。
	#	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	0		毎日の振り返りを行っているが、課題設定して行ってはいない。
	#	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		当事業所では小集団活動と個別活動に重きを置き、活動計画を作っている。
	#	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0		前日の振り返りの時と当日の活動前に必ず行っている。
	#	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	0		前日の振り返りの時と当日の活動前に必ず行って気づいた点を共有している。
	#	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0		必ず実施している。
#	#	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	0		半年に1回モニタリングを行い計画の継続・変更を行っている。
	#	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	0	0		参考にして活動を作り上げている。
	#	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	0		事業所の責任者が毎回参加し、他の職員に周知している。
	#	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	0	0		直接送迎時に学校の先生と連絡を取り合いまた、障害児相談支援専門員が学校との調整役になって行い、職員に伝えている。

関係機関や保護者との連携	#	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	1	2	今のところ、受け入れていない	将来的には計画している。
	#	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	1	2		今のところ機会がないが、行っていきたい。
	#	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	0		出来ている場合とできていない場合がある。実施していきたい。
	#	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	0		研修等に参加している。
	#	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	0	0	昨年夏に地域児童館との交流会を行った。	昨年、地元児童館と交流会を行い、双方楽しめたのでこれからも継続して行っていきたい。
	#	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	0		障害児相談支援専門員が積極的に参加して、事業所職員と連携を行っている。
	#	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	0		毎日の送迎時に活動内容や子供の状態を報告し、共通理解できるよう努めている。
保護者への説明責任等	#	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	0		ペアレントプログラムの研修に参加し、職員が他の職員に周知し、活動や保護者支援に役立てている。
	#	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	0		事業所の玄関に掲示しておりいつでも閲覧できるようにしている。
	#	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	0		助言というよりも一緒に考えるという視点で支援を行っている。
	#	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	3		年1回の子供と一緒にクリスマス会を開催して交流を図っている。
	#	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	0		毎日の送迎時の連絡を丁寧に行うことで苦情はあまり出ていない。
	#	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	0		毎月会報を発行して活動内容や子供たちの様子を伝えている。
	#	個人情報に十分注意している	3	0	0		広報誌に顔写真や名前の掲載など行わないよう気を付けている。
	#	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0		毎日のお迎えの時にいろいろな話の中で情報を伝え、また、家族の状況などの把握に努めている。
	#	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	0		今後の課題と考えている。
	非常時等の対応	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	0	
#		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0		毎年春と秋に消防署立ち合いで災害避難訓練等実施している。
#		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0		人権・教育委員会を設置して学習会を定期的に行っている。
#		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	0		どんな時も身体拘束はしないことを規定して、実行している。
#	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	0		現在いないがそのようにしていきたい。	

#	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0	ヒヤリハット報告書の作成は常に行っているが事例集での学習なども今後取り入れていきたい。
---	---------------------------	---	---	---	---